



工事のおはなし



カリタス幼稚園
2021.4 No.1

この『工事のおはなし』では、“今年度ならではの”の工事に関する様々なエピソードを、少しずつではありますが、紹介していこうと思います。

今年度のテーマは、「いのち～神さまからのおくりもの」です。

今回は、私たち教職員が現場に入らせていただいた時に“解体工事の中でみつけた SDGs”に関する事柄、“安全に気を配っていただいていると実感”した事柄の2点について、紹介したいと思います。



①解体工事の中でみつけた SDGs

工事車両で分別作業



解体作業に使われる車両は、4月8日(木)に進級児たちが葛谷さんから聞いたお話の中にもあったように、先端がカニのハサミ状になっているもの(の仲間)でした。

左の写真は、解体した花壇のコンクリートをダンプカーに載せて運べる大きさまで小さくしている様子。よく見ると、大きな黒い丸がついています(黄色の枠の中)。この黒い部分は磁石になっていて、コンクリートの中の鉄筋などの金属をくっつけて、分別していきます。磁石によって集められた金属は、カニのハサミで“かみかみ(噛み噛み)”して、鉄(金属)団子にしていくのだそうです!

分別

解体作業を行っている“働く車”の周りには、木、コンクリート、金属が、それぞれまとめられていました。私たちが家庭で、可燃物・プラスチック、瓶、缶などを分別しているのと同じように、大きな工事現場でも、種類別に分別作業が行われているのですね。分別されて運ばれた後は、どうなるのでしょうか?気になります。



木



コンクリート



金属

②安全に気を配っていただいていると実感

作業員の方々は、皆さん、様々な用具を腰回りに身につけています。しかし、その位置は、ちょうど“子どもの高さ”にあたるため、現場の外に出る時には、必ず外して所定の場所にかけるのだそうです。ちょっと手間がかかる作業だと思いますが、幼稚園という、子どもたちが身近にいるところの工事で、安全に気を配ってくださっているのですね。

